

伝統医学の歴史の

新たな扉が開く年

慶應義塾大学教授

渡辺 賢治

WHO国際疾病分類の 伝統医学の章がスタート

今年、ICD-11に伝統医学の章が正式に追加される予定である。2016年10月、国際疾病分類の改訂会議が東京で開催された。この会議にはWHO前事務局長のマーガレット・チャン氏が出席され、開会式において「新しい国際疾病分類に伝統医学が入ることは歴史的である」というスピーチをした。なぜ歴史的なのか、本稿で説明し、開発の経緯と今後の課題について整理したい。

990年にWHO総会で採択された。本年よりやがてICD-11に移行する。およそ10年ごとに行われてきた改訂がICD-10からICD-11にな

るのに28年の時を要した。その理由が、ICD-10までは紙ベースだったが、ICD-11では電子媒体となる。また、分類のみだったの

が分類の定義がつき、オンタイム検査が可能となる。また電子カルテ時代の国際疾病分類となる。もう一つ大きな変化として新たに加わるのが冒頭に述べた伝統医学分類の章が入ることである。90年来のICDの歴史の中で伝統医学が入るのは初めてである。

その意味において歴史的快挙と言えよう。伝統医学分類の開発は日本、中国、韓国、ベトナムなどが所属するWHOの西太平洋地域事務局のプロジェクトとして05年に開始され、09年からはWHO本部がこのプロジェクトを引き継ぎ形が開発が進められた。

た。本プロジェクトのために参加した国際会議はこの13年間に36回以上行われた。

意見の違いから会議が紛糾したことは歴史的である。しかしそれをどうにか乗り越えてきたのは、各国の優れたリーダーたちのおかげである。こうした国際会議を成功裏に導くためにはいくつかの「コツ」がある。固定したメンバーで行うことである。お互いのことをよく知ることが国際会議を成功裏に導く第一歩である。最初は何かを議論するが、お互いの国の状況を理解し、強み・弱みを

見せ合うことで、みなが見え合える。この13年間に36回以上行われた。意見の違いから会議が紛糾したことは歴史的である。しかしそれをどうにか乗り越えてきたのは、各国の優れたリーダーたちのおかげである。こうした国際会議を成功裏に導くためにはいくつかの「コツ」がある。固定したメンバーで行うことである。お互いのことをよく知ることが国際会議を成功裏に導く第一歩である。最初は何かを議論するが、お互いの国の状況を理解し、強み・弱みを

計と疾病統計が目的である。伝統医学の章は疾病統計が目的である。これにより、各国の伝統医学の保健統計が取れ、それらを比較することが可能になる。この保健統計は臨床家のみでなく、統計学者や政策決定者などにも重要な情報を提供する。次は臨床研究の基盤ができることである。伝統医学の臨床は西洋医学病名に基づいたものではなく、患者さんの状態を見極める「証」を加味して治療方針が決定される。今まではこの「証」についての国際的な基盤がなかった。今回日中韓を中心とした国際的証の分類を作成したことの意義は大きい。三つ目は教育の国際的基盤ができたことである。各国の伝統医学教育はかなり異なるが、その基盤ができたことの意味は大きい。

する国は世界中に広がっている。欧米はもちろんのこと、南米やアフリカ諸国にも広がっている。今後フィールドテストに参加する意を表明している国々にはスペイン、コロンビア、ロシアなども含まれている。各地域で行われているアジア伝統医学は必ずしも同じではない。例えば欧州では独自の医学理論を展開している。日中韓とも異なる意見を有する。事実WHOの伝統医学の章に対する批判の論文が欧州から何報か出ている。

困難を極めた開発

古代中国に起源を持つアジア伝統医学であるが、長年の歴史、および現代の医療制度の違いから、現在では似て非なるものになっている。こうした違いを乗り越えて標準化するには至難の業であった。

小生はWHO西太平洋事務局のプロジェクトとしてスタートして以来、議長として、取りまとめをしてきたが、数えてみ

13年間心血を注いできた本プロジェクトがようやく世に出ることについては深い感慨を覚えるとともに、今後はこの分類が世界で使われるように育てていかなければならない。

「伝統医学分類」と「証」の分類に分けられる。「伝統医学分類」は「伝統医学疾病」と「証」の分類に分けられる。「伝統医学分類」は「伝統医学疾病」と「証」の分類に分けられる。「伝統医学分類」は「伝統医学疾病」と「証」の分類に分けられる。

次のステップは 国際的な普及

「伝統医学分類」は「伝統医学疾病」と「証」の分類に分けられる。「伝統医学分類」は「伝統医学疾病」と「証」の分類に分けられる。「伝統医学分類」は「伝統医学疾病」と「証」の分類に分けられる。

「伝統医学分類」は「伝統医学疾病」と「証」の分類に分けられる。「伝統医学分類」は「伝統医学疾病」と「証」の分類に分けられる。「伝統医学分類」は「伝統医学疾病」と「証」の分類に分けられる。

「伝統医学分類」は「伝統医学疾病」と「証」の分類に分けられる。「伝統医学分類」は「伝統医学疾病」と「証」の分類に分けられる。「伝統医学分類」は「伝統医学疾病」と「証」の分類に分けられる。

オスギ医療用漢方製剤



資料請求先 営業本部 〒546-0035 大阪市東住吉区山坂 1-8-6 TEL (06) 6629-9055 (代)

薬価基準収載

FC41T

ジュンゴウ 補中益気湯 FCエキス錠 医療用

●効能・効果、用法・用量、使用上の注意等については製品添付文書をご覧ください。

漢方を現代医療に生かす オスギ 大杉製薬株式会社

(2015年4月制作)

小太郎漢方の カプセルシリーズ

商品番号 NC127 劇薬 コロ- まおう ばしさいしんとう 麻黄附子細辛湯 エキスカプセル 〈包装〉 コロ-麻黄附子細辛湯エキスカプセル PTP 100カプセル、300カプセル 600カプセル	商品番号 NC15 コロ- おおう じょう とう 黄連解毒湯 エキスカプセル 〈包装〉 コロ-黄連解毒湯エキスカプセル PTP 300カプセル、600カプセル 600カプセル	商品番号 NC113 コロ- さん おう しん とう 三黄瀉心湯 エキスカプセル 〈包装〉 コロ-三黄瀉心湯エキスカプセル PTP 300カプセル、600カプセル 600カプセル	商品番号 NC135 コロ- いん ちゅう とう 茵陳蒿湯 エキスカプセル 〈包装〉 コロ-茵陳蒿湯エキスカプセル PTP 300カプセル、600カプセル 600カプセル	商品番号 NC5 コロ- あん ちゅう さん 安中散 エキスカプセル 〈包装〉 コロ-安中散エキスカプセル PTP 300カプセル、600カプセル 600カプセル
---	---	---	---	---

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

小太郎漢方製薬株式会社

資料請求先 小太郎漢方製薬株式会社 医薬事業部 〒531-0071 大阪市北区中津2丁目5番23号 TEL 06(837)1910 FAX 06(837)4140 (9:00-17:30/土、日、祝日、弊社休日を除く) (2010年4月制作)

ドクターゴンの

知っておきたい 在宅医療の機器・材料

著 泰川 恵吾 (医療法人鳥白川会理事長) / 企画・編集 東邦ホールディングス株式会社

B5判/71頁/定価1,800円+税

薬事日報社